



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2019.4

No. 421

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



「1 → 0」だけは嫌だ！ 山部 直喜(三郷市)

私のフィールド内でのアオバズク飛来地は、唯一、H神社だけになってしまいました。今年も必ず来て欲しい、「0」にはしたくない、と考えています。そこで、3年ほど前から、アオバズクを目的にH神社に来る人すべてに、私の思いを伝える努力をしています。今月号はその経緯と記録です。



I 思い出のG観音堂

「近隣にもアオバズクがいるに違いない」と探すこと5年。やっと1986年7月にG観音堂で確認することができた(右上写真)。右の松の木の樹洞で繁殖、その下では盛んにゲートボール、垣根沿いに中学生が登下校(左上写真)、1羽が○印の所で巣を見張っていた。

驚いたことにゲートボールをしていた20名ほどの全員がアオバズク存在を知っていた。「あのフクロウ(アオバズク)は自分が子供の頃からあの松にいた(80代女性)」「この祭りの時はいつも上から見ているよ(70代男性)」「落ちたヒナを近くの木に乗せた(60代男性)」等々、口々に話してくれた。さらに驚いたことは登下校の中学生もその存在を知っていた。アオバズクは、この地で何十年も、いやもっと長い年月、連綿と世代交代を続けてきたに違いない。感慨深かった。

II 最後のH神社

以来、G観音堂以外にH神社、その他に6ヵ所の生息地(計8)を近隣市町で確認できた。ところがG観音堂は10年前から「0」、原因は「マナー違反のカメラマン」。現在はH神社の「1」だけ。「8→1」になったのだ。

H神社には、以前から「マナー違反のカメラマン」を厳しく注意するAさんがいた。そ

のためか、訪れる人も少なく、来た人もマナーをわきまえていた。Aさんは、残念ながら4年前に病没された。

その次の年、2017年の7月、「ヒナが並んでいる」と広い範囲に情報を流した人がいたらしい(仮にBさん)。その翌朝には20人ほどのカメラマンが集まり、その中には、ヒナの目を開けさせようと神社の鈴を鳴らす人、テープを流す人、止まっている木の幹を木材で叩く人、ストロボを発光し続ける人、大声でしゃべる人等々…。そんな知らせが当日の正午ごろ届いた。「G観音堂の二の舞はさせない」。そのまま車で現地に向かった。

III H神社に来る人すべてに自分の思いを伝える

もちろん「マナー違反のカメラマン」には力を込めて伝える。参拝に来た人、散歩に来た人、地域の人にもできるだけ伝える。

「自分の思いを伝えよう」と思ったのは、G観音堂での苦い経験がある。違反行為を注意する、これは結局その場限り。注意する側もされる側も嫌な感情だけがいつまでも残る。それは野鳥を大切にしている感情とは違う。野鳥を大切にしている気持ちを萎えさせる。

以来、お互いが納得する会話や方法を模索している。違反行為に自ら蓋をする、そんな

抑止力が生まれることを願って、今のところは①～⑥のように会話を進めている。

①「私は三郷市に住む山部直喜という者です。アオバズク、どうですか」

タイミングを計り、必ず自分の名を明らかにして話しかける。野鳥の会の会員であることは言わない。私の思いを伝えることは全くの個人的な活動だと思っているからだ。そして、話しを伺う中で、必要ならば「ここのアオバズクを30年近く観察している」ことを付け足す。これで次の②の重みが増す。

②「私が最も願っていることは、アオバズクが来年もここに来て欲しいということです。なにしろ旧庄和町、越谷市、吉川町、松伏町、三郷市、草加市、八潮市では、最後の生息地のようです。ここを大切にしたい」

2017年7月の無法ぶりが自分の行動のきっかけとなったことも明かす。必要ならG観音堂の経緯、アオバズクの生態も話す。

③「氏子の人や地域の人たちは、神社に来る私たちをよ～く見えています」

このことはG観音堂で学んだ。「あそこは駐車されては困る所だよ」「夜も来ていたな」などと言われた時は赤面した。私もマナー違反者だったのだ。このことも伝える。

実は、H神社の近隣住人も2017年7月の無法ぶりには気が付いていた。近隣住人とのトラブルは④ができなくなる。

④「来年もアオバズクが来るようにして、写真を楽しみましょう。そのためには～」



Canonと日本野鳥の会から左の小冊子が出ています。その「野鳥撮影のマナー7カ条」に「3 珍鳥や人気の鳥の情報を公開しない」がある。このことをブログに乗せる人には、丁寧にそして強く伝えている。それでも昨年、Cさんはアップしていた。景観を入れなかったのは、自分の行動に少し蓋をしたのかなと思った。

⑤「お願いがあります。今度いらした時に、もし私がマナー違反の人ともめていたら、その場で「そうだ」とか「そう思うよ」とか拍

手をいただけたら、私も勇気がわきます。お願いします」

④まで話しが進むと「わかったよ」と言ってくれる人がいる。その時は間髪を入れず、両手を体側に揃え、「～お願いします」と目を見ながら頭を下げる。勢いで大抵の人が「ウン」と言ってくれる。もう味方だ。

IV 伝える際に心がけていること

①地元の人との交流を大切に

G観音堂で「あの松は切らないことにしたよ」と聞いた時には、日頃からの挨拶、世間話がいかに大事かを改めて教えてくれた。H神社の近隣には「何かあったら連絡を」と連絡先を知らせている。ついでに「マナー違反のカメラマン≠野鳥の会会員」であることも。

②子供や地域の人に望遠鏡で見せる

特に子供の頃の五感を通して得た自然体験は、必ずややがては自然を大切にしている行動につながっていく。そのためには、子供には野鳥を観察する機会をできる限り増やしたい。

③共感的理解に努める

Ⅲの①では聞き役に徹する。カメラマンには、撮影の楽しさに共感できなければⅢの②以上に進めない。耳を貸してくれない。

ところで、Bさんには私の思いが伝わり、自粛を呼びかけた節がある。私が駆け付けた次の日から無法ぶりが激減。感謝している。

④挨拶に名前を添える

はっきりした声で「こんにちは、〇〇さん」と始めている。名前を付けることは「あなたの存在を強く認めています」のメッセージだ。マナー違反の人は有名で、周りの人が教えてくれる。今夏、Cさんに会ったら、名前を付けて挨拶しよう。

⑤周りの人を味方にする

「お前の鳥か!」「お前の土地か!」と激昂する人がいる。この時は「皆さんはどう思われますか」と大声で周りの人に話を振る。孤軍奮闘しないことに決めている。

V あそこにはウルサイヤツがいる

昨年から噂が立っているらしい。人から嫌われることは嫌だ。「1→0」はもっと嫌だ。今年は青葉の茂る時季から少しずつ始めてみよう。



野鳥情報

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇12月1日、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、マガモ♂1♀2、ダイサギ、アオサギ、イソシギ、イカルチドリ6、オオバン、カワセミ♂1、キジバト、コゲラ、ジョウビタキ、カワラヒワ、シメ、モズ、アオジ、シジュウカラ、メジロ、ツグミ、ウグイス、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハクセキレイ、ヒヨドリ (鈴木紀雄)。

さいたま市大宮区下町 (53396580) ◇12月11日午前8時、自宅マンションのバルコニー手すりに鳥がとまった。何だか黒っぽい鳥だなどと思ってよく見ると、なんとイソヒヨドリ♀だった。10日朝にも同じ場所に鳥がとまったが、すぐに飛んでしまい正体はよく分からなかった。同じ鳥かも知れない。12月13日午前10時前、氷川参道を歩いていたら頭上のケヤキに鳥の群れが来た。もしかしてと双眼鏡を取り出して確認したら、やはり今季初めてのアトリ約15だった。(森本國夫)。

蓮田市黒浜沼周辺 (53397584) ◇12月15日、トモエガモ♂1、コガモの群れ中に1羽を確認。黒浜沼地区の記録にはあったが、私としては当地初めての観察となった。この日は田んぼに下りるミヤマガラスなどを含め21種を観察したが、例年に比べホオジロの仲間の飛来が少ないのが気になっている (田中幸男)。

深谷市明戸 (54392255) ◇12月16日、あけと農産物直売所の北西側の田んぼでミヤマガラス約300、チョウゲンボウ1、ノスリ1 (嶋田富夫)。

さいたま市浦和区別所沼 ◇12月20日午後1時30分～2時、マガモ1番い、オナガガモ♂1♀2、キンクロハジロ約24、オオバン1 (陶山和良)。

さいたま市西区西新井景観緑地 (53397436) ◇12月21日、オオタカ、リュウキュウサンショウクイ、キクイタダキ、シジュウカ

ラ、メジロ、ウグイス、アオジ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、キジバトなど (嶋田富夫)。

川越市伊佐沼 ◇12月23日午前8時12分頃、コハクチョウ成鳥2。8時35分まで観察し、私はその場を離れる。日本野鳥の会埼玉の会員廣田純平氏に連絡し、午後2時頃に廣田氏が伊佐沼に確認に来た時にはすでに飛去した模様 (神戸宇孝)。

さいたま市岩槻区岩槻城址公園 ◇12月24日、ルリビタキ♂1、2回囀る (下写真)。エナガ・シジュウカラ・ヤマガラ1・メジロの混群。カラ類の混群とは少し離れた所でキクイタダキ1。コゲラ、シメ、カケスなど (藤原寛治)。



蓮田市西城沼公園とその周辺 ◇12月25日、ジョウビタキ♂1、カワセミ♀1。シメ1、オナガ7。12月27日、アトリ30±が屋敷林の上空を舞う。12月30日、カルガモ47、ジョウビタキ♂4。他にカワラヒワ、コゲラ、オナガ、モズなど (長嶋宏之)。

吉川市きよみ野5丁目 (53396678) ◇12月25日、東側の休耕田で チョウゲンボウ♂1。朝の散歩中に、遊歩道の桜の木にとまる。すぐに隣の休耕田に飛び去る。急いでカメラを持って写真を撮った。測量に使用した杭にとまり、時々下に降りる。杭の高さ約2m。顔の色や羽の状況から若鳥と思われる (高野 智)。

表紙の写真

スズメ目スズメ科スズメ属スズメ

2年前の4月10日、ソメイヨシノの花をくわえ、写真を撮らせてくれました。

蟹瀬武男 (さいたま市)



行事案内



オオルリ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

鉄道・バスのダイヤ改正の時期です。この案内は、執筆当時の情報に基づいていますので、変更があるかもしれません。ご注意ください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月7日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR 高崎線 北本駅西口から、「北里大学メディカルセンター行き」バス 8:36 発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、大畑、岡安、柴田、千葉、飛田、内藤、永野、村上(政)、吉原(早)
見どころ：恒例のお花見探鳥会。花見客が多い分、鳥は少な目かも。一般の来園者や花見客に迷惑を掛けない様にご注意を。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：4月7日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、「東川口駅北口行き」8:37 発で「念仏橋」下車。

担当：伊藤、大井、須崎、高崎、手塚、野口、藤田、若林

見どころ：夏鳥は来ているかな？ サクラの花は終わっても、ほかの沢山の花々が迎えてくれるはず。見沼田んぼの春を満喫！

ご注意：第一調節池方面には、行かない予定です。調節できる服装で、お越しくください。

長瀬町・宝登山探鳥会

期日：4月7日(日)

集合：午前10時、秩父鉄道 長瀬駅前。

交通：秩父鉄道 御花畑 9:27 発、または熊谷 9:01 発→寄居 9:33 発に乗車。

解散：12時半ころ、宝登山山頂ロープウェイ駅前広場。

担当：井上、鶴飼、近藤、佐久間、佐野、堀口、松下

見どころ：冬鳥と夏鳥が移動する時期です。どんな鳥が観られるか楽しみです。山から見る景色も良いですよ。

ご注意：ハイキングコースを登ります、飲み物と靴は履きなれたものを。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月14日(日)

集合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。

交通：秩父鉄道 熊谷 9:21 発、または寄居 8:59 発に乗車。

担当：千島、新井、鶴飼、大畑、倉崎、田島、飛田、中川、村上(政)、茂木

見どころ：ツバメが飛び、ウグイスやシジュウカラがさえずる中を歩き、ツグミ、シメ等の冬鳥を探します。猛禽も飛ぶでしょう。

東京都・葛西臨海公園探鳥会

期日：4月20日(土)

集合：午前8時30分、葛西臨海公園駅前。
交通：JR京葉線 東京8:15→新木場8:25→葛西臨海公園8:28着
解散：正午ころ。
担当：菱沼(一)、小林(み)、吉原(俊)、吉原(早)、渡邊

見どころ：昨年に続いて開催します。今年はどうな鳥に出会えるかドキドキします。

埼玉 Young 探鳥会 さいたま市・秋ヶ瀬公園

期日：4月20日(土)

集合：【電車の方】JR浦和駅西口②番バス乗り場から8:33発 大久保浄水場行きに乗りし「桜区役所」下車。【車の方】午前9時、桜区役所バス停付近。

担当：島崎、石塚(敬)、高崎、廣田、村上(将)
見どころ：Young探鳥会は、若者、お子様連れ等を対象にした探鳥会です。今回は春の秋ヶ瀬公園で、渡り途中の夏鳥などを探します。オオルリ、キビタキに加えて、チョウゲンボウなどの農耕地の鳥にも会えるといいですね。

注意事項：解散はお昼過ぎになるので、昼食をご持参ください。

栃木県・小倉山森林公園探鳥会

期日：4月20日(土)

集合：午前8時30分、東武日光駅前。集合後徒歩で現地へ。※JR日光駅ではありません。
交通：特急リパティけごん1号 東武日光行 春日部7:03発→東武日光8:22着。

解散：昼食後に現地です。ただし、オオルリが出なかった場合は昼食後も探鳥します！

担当：青木、浅見(徹)、市原、佐野、長野
見どころ：昨年は木々の葉が茂ってしまい、探すことが出来ませんでした。今年は昨年より1週間早めました。なんとしてでもオオルリに会いたい！まだオオルリを見たことがない初心者の方、お待ちしております。勿論ベテランの方も大歓迎です。

ご注意：①前日(4/19)17時発表の、宇都宮地方気象台気象情報 0288-177 で、栃木県北部4/20午前中の降水確率が50%を超えた場合は中止(担当者も現地に行きません)。②

お弁当は、東武日光駅でも買えます。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：4月20日(土)午後3時～4時ころ
会場：会事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：4月21日(日)

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交通：JR北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50m先左手バスターミナルから東武バス「さいたま市立病院行き」8:23発で終点下車。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：浅見(徹)、青木、浅見(健)、楠見、小菅、小林(み)、須崎、畠山

見どころ：昨年4月は、雨で中止。一昨年は晴れて、29種を確認。探鳥コースのあちこちでキジやヒバリの声が聞こえていました。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月21日(日)

集合：午前9時15分、アスレチック広場前・第一駐車場。

交通：東武春日部駅西口、朝日バス③番乗り場から春日部エミナース行き8:41発で、「共栄大学入口」下車。西へ徒歩約7分。

担当：石川、佐藤(宏)、佐野、進士、橋口
見どころ：雑木林、田んぼ、屋敷林などを巡り、小鳥中心に探鳥します。新緑の季節は冬鳥と夏鳥の両方を目にする機会です。

帰りのバス：下車バス停の反対車線のバス停 発13:07、14:20(3月現在の時刻表による)。

さいたま市・秋ヶ瀬公園探鳥会

期日：4月24日(水)平日

集合：午前9時10分、桜区役所バス停付近。
交通：JR浦和駅西口②番バス乗り場から桜区役所行き8:32発で終点「桜区役所」下車。
担当：小林(み)、浅見(健)、浅見(徹)、石塚(敬)、石塚(真)、海老原(教)、海老原(美)、藤田
見どころ：平日の静かな秋ヶ瀬の森で、旅の途中のキビタキやサンショウクイ。オオルリにだって、運次第で会えるかも。

長野県・中軽井沢レディース探鳥会

期日：4月26日（金）平日

集合：午前8時、しなの鉄道 中軽井沢駅北口。

交通：北陸新幹線大宮発6:54（はくたか551号金沢行）→高崎7:18→軽井沢着7:34しなの鉄道に乗り換え7:42発→中軽井沢着7:46

解散：午後2時ころ、現地 軽井沢野鳥の森。
担当：吉原（早）、相原（友）、黒田、中川、菱沼（洋）、藤澤、藤田

見どころ：キビタキやオオルリなどの夏鳥、ヒガラやコガラなど小鳥たちを探して長倉神社～野鳥の森へと約6km歩きます。
ご注意：野鳥の森は足元が滑り易いためハイカットの登山靴をお薦めします。昼食持参。小雨決行。嵐・大雨中止。女性限定です。

さいたま市・大宮第二公園探鳥会

期日：4月27日（土）

集合：午前6時、東武野田線 大宮公園駅前。または、午前6時30分、大宮第二公園管理事務所前。

交通：東武野田線 大宮5:51発、または春日部5:41発に乗車。駅に集合後、担当リーダーが第二公園管理事務所前まで（徒歩約20分）ご案内します。車の方は大宮第二公園駐車場が利用可能（この日特別に午前6時開門）ですので、直接管理事務所前へお越しください。

共催：大宮第二公園管理事務所

解散：午前9時ころ、大宮第二公園管理事務所前。徒歩の方は、大宮公園駅までご案内します。

担当：浅見（徹）、青木、浅見（健）、石塚（敬）、小林（み）、近藤、千葉

見どころ：早起きして朝の静かな公園で、野鳥の声を楽しみませんか。この時季、小鳥たちにとっては恋の季節。耳をすませば、小鳥たちの美しいさえずりが……。

北本市・石戸宿臨時探鳥会

期日：4月28日（日）

集合：午前9時、北本自然観察公園学習セン

ター玄関前広場。

交通：JR高崎線 北本駅西口から、「北里大学メディカルセンター行き」バス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原（俊）、相原（修）、相原（友）、秋葉、大坂、大畑、岡安、近藤、柴田、千葉、飛田、内藤、永野、村上（政）、吉原（早）

見どころ：夏鳥の訪れを期待しての臨時探鳥会です。今年限りになるかも知れません。何に会えるかは、あなたの運次第。

シギ・チドリ類 県内調査

期日：4月29日（月・祝）

野鳥の会埼玉では、春と秋の2回、独自にシギ・チドリ類の調査を行っています。多くの会員の参加・ご協力をお願いします。

◆大久保農耕地（さいたま市）

集合：午前9時30分、荒川総合運動公園運動場北東側駐輪場わきの広場（横堤の下）。

解散：集合場所で、正午ころの予定。

交通：浦和駅西口②番バス乗り場から大久保浄水場行き8:33発で終点「大久保浄水場」下車、徒歩約15分。

担当：石井

その他：調査のため、参加費は不要。小雨決行。大雨や悪天候の場合は中止。なお、シギ・チドリ類が大変少ないこともあります。

東京都・三宅島探鳥会（要予約）

期日：5月10日（金）～12日（日）

集合：10日夜9時、JR浜松町駅北口改札口。

集合後徒歩で竹芝栈橋東海汽船待合室へ。

日程：出航22:30。三宅島着11日朝5時。三宅島出航12日13:35。竹芝栈橋着19:40。

解散：竹芝栈橋にて12日20時ころ。

定員：23名（野鳥の会会員限定、先着順、埼玉会員優先）。

最少催行人員：15名。

費用：定員23名の場合25,600円。定員に満たない場合は次のようになります。

20～22人の場合26,000円

15～19人の場合26,900円

※上記費用には往復船賃、島内バス代、1泊3食、保険料などを含みます。

申し込み：往復はがきに住所、氏名（ふりが

なも)、旅行時の年齢、性別、電話番号を明記して、浅見徹()まで。4月1日消印から受付開始で、4月9日必着締切りとします。注)4月10日から東海汽船運賃のキャンセル料1,000円が発生します。ご了解の上、お申し込みください。

担当:浅見(徹)、青木、今村、榎本、小林(み)
見どころ:大路池周辺を中心に、ゆったりとアカコッコ、タネコマドリ、イイジマムシクイ、カラスバトなどを楽しめます。帰りの船での海鳥にも期待。

その他:往復2等船室。11日の朝食と昼食は各自持参。12日帰路船内の夕食代は各自負担。宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意はできません。

秩父市・中津川探鳥会 (要予約)

期日: 5月18日(土)~19日(日)

集合:18日、中津川バス停前14時20分

交通:秩父鉄道三峰口駅から西武バス中津川行き13時発で終点中津川下車(14:05着)。

解散:19日、集合場所にて10時ころ。

費用:1万円を予定(1泊2食付き宿泊代、親睦会費、保険代を含む。過不足の場合、当日精算)。

定員:20名(野鳥の会会員限定、先着順、埼玉会員優先)。最少催行人数10名。

申し込み:往復はがきに住所、氏名、生年月日(保険加入に必須)、性別、電話番号を明記して、長野誠治()

)まで。4月1日消印から有効受付とします。

担当:長野、青木、井上、佐野

見どころ:当支部初の企画、「埼玉県内」にこだわった秩父(旧大滝村)最深部での探鳥会。午後から夕刻及び早朝に中津川の溪流沿いで夏鳥を探します。猛禽類にも期待しましょう。

その他:宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意はできません。

長野県・戸隠高原探鳥会 (要予約)

期日:5月25日(土)~26日(日)

集合:25日午前9時、長野駅コンコース、新

幹線改札口を出て右側。

交通:新幹線「あさま601号」(東京6:52→大宮7:18→熊谷7:31→高崎7:46→長野8:38着)、または「かがやき503号」(東京7:20→大宮7:46→長野8:43着)など。

解散:26日16時頃、長野駅前。「あさま626号」(16:23発)に乗車できるように調整します。

費用:12,000円の予定(1泊3食、現地バス代、旅行保険料等)。万一過不足は当日清算。集合地までの往復交通費は各自負担。

定員:20名(先着順、埼玉会員優先)。

申し込み:往復はがきに住所、氏名(ふりがなも)、旅行時の年齢、性別、電話番号、喫煙の有無を明記して、菱沼一充()

)まで。4月1日消印から有効受付とします。

担当:菱沼(一)、浅見(徹)、近藤、菱沼(洋)
見どころ:小鳥たちのコーラス。アオジとノジコの姿と囀りの違いが分かるようになるかも。

ご注意:宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意はできません。

埼玉 Young 探鳥会 東京都・三宅島 (要予約)

期日:5月31日(金)~6月1日(土)

集合:31日午後9時半、竹芝客船ターミナル内「SHOP 竹芝」付近。JR浜松町駅から徒歩15分。ゆりかもめ竹芝駅から徒歩1分。

解散:1日午後8時頃、竹芝客船ターミナル内。

担当:廣田、他ヤング数名

申込:当会HPの専用応募フォームより(4月上旬掲載)。

定員:15名(申込者多数の場合は抽選)。

見どころ:概ね40歳くらいまでの若い方を対象とした探鳥会です。アカコッコ、オーストンヤマガラ、ウチヤマセンニュウなど島ならではの鳥たちに期待です。

その他:船のチケットは各自購入となります。その他、詳細については当会HPで4月上旬からご案内します。

2019年5月～9月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもありますので、確定情報は、当月の会誌『しらこぼと』の行事案内でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地など
5	3	金祝	幸手市 宇和田公園
	5	日祝	茨城県 浮島・小見川 (予約)
	6	月振	千葉県 谷津干潟
	10-12	金-日	東京都 三宅島 (予約)
	12	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	12	日	栃木県 日光戦場ヶ原
	18	土	加須市 加須はなさき公園
	18	土	群馬県板倉町 渡良瀬遊水地 Young
	18-19	土日	秩父市 中津川 (予約)
	19	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	25-26	土日	長野県 戸隠高原 (予約)
	26	日	狭山市 入間川 [定例]
31-6/1	金土	東京都 三宅島 Young (予約)	
6	2	日	北本市 石戸宿 [定例]
	2	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	9	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	16	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	29	土	支部総会
7	7	土	群馬県板倉町 渡良瀬遊水地
	13	土	吉川市 サギのコロニー観察会①
	14	日	室内講座「鳥の羽根」
	21	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	27-28	土日	長野県 上高地・乗鞍高原 (予約)
28	日	狭山市 入間川 [定例]	
8	4	日	北本市 石戸宿 [定例]
	10	土	吉川市 サギのコロニー観察会②
	11	日	千葉県 谷津干潟
	17	土	千葉県 三番瀬海浜公園
	18	日	さいたま市 三室地区 [定例]
9	1	日	リーダー研修会
	25	水	長野県 白樺峠 (予約、平日)

「こんな鳥を見たい!」という方へ

本会ウェブサイトのトップページ左側のメニューの中に「探鳥会出现鳥検索」というのがあります。最近5年(2013～2017年)の県内探鳥会について、見たい鳥がどこの探鳥会で出たのか調べられるデータベースです。鳥を「科」から指定するのがちょっとマニアック。なお、名前を出てこない鳥は、記録がないということです。

野鳥データベースについて (調査部)

現在、調査部では野鳥データベースを運用しています。この原稿を作成している時点で、1984年の本会発足以来の『しらこぼと』に掲載された探鳥会や野鳥情報のデータは入力を完了して、次のステップとして『しらこぼと』に掲載された調査報告や野鳥記録委員会のデータを入力するために電子化しているところです。この作業も年度内には完了する予定で、データベースを構築する上でもっとも大変な過去のデータの取り込みにめどが立ちました。今後は、新しく発生するデータを取り込みつつ、データの活用にも目を向けていくこととなります。

会員の皆様の中には、自分のフィールドノートにたくさんの記録が眠っているという方がいらっしやと思います。そのような記録は、埋もれさせておくのはもったいない大変貴重なものです。記録を調査部に提供していただければ、野鳥データベースに取り込んで活用させていただきます。記録についての必須条件は、観察した日付と詳しい場所が分かるものであるということです。提供していただける方は、調査部の森本までお知らせください。

野鳥データベースからプログラムされた機能を利用していろいろな切り口のデータを出力することができます。一例として、『しらこぼと』掲載の野鳥情報にデータを提供して下さった方々が、延べで何種の鳥を報告しているのかを見てください。(報告回数、延べ鳥数)で示します。なお、同一人による同日、同場所の報告を1報告と数えています。連名の報告も1とします。

鈴木紀雄(2276、7465)、長嶋宏之(946、4339)、本多己秀(639、3008)、小林みどり(451、3422)、高橋達也(384、599)、海老原美夫(330、793)、藤原寛治(301、792)、井上幹男(282、619)、増尾隆(275、641)、立岩恒久(271、404)、後藤康夫(254、1481)、石川敏男(226、589)、秋間利夫(189、354)、町田好一郎(189、308)、山岸昭治(176、367)、榎本秀和(164、1055)、大塚純子(150、548)、陶山和良(136、671)、福井亘(130、196)、駒崎政雄(128、324)、鈴木敬(122、498)、山部直喜(113、271)、小林ますみ(109、540)、中司隆由(103、150)、浅見健一(95、514)、倉林宗太郎(84、342)と続きます。鈴木紀雄さん、すごいですね。



行事報告

11月17日(土) さいたま市 見沼自然公園 親子

参加: 20名 天気: 晴

オカヨシガモ マガモ カルガモ オナガガモ
トモエガモ カイツブリ キジバト カワウ ア
オサギ ダイサギ バン オオバン カワセミ
コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ ジョ
ウビタキ スズメ ハクセキレイ ベニマシコ
アオジ (26種) (番外: ドバト) 初の「親子向
け」企画。あいにく、さいたま市内の小学校の登
校日と重なって参加組数は少なかったものの、
ちびっ子たちの活気で和気あいあいとした雰囲気。
終始なごやかな時が流れた。(石塚敬二郎)

11月24日(土) 蓮田市 黒浜沼 Beginner

参加: 16名 天気: 曇

ヒドリガモ コガモ ホシハジロ カイツブリ
カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサ
ギ オオバン オオタカ カワセミ モズ ハシ
ブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス
ムクドリ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ
カワラヒワ ベニマシコ シメ (23種) (番外: ド
バト) マラソン大会と重なりコース取りを工夫
しての進行。ジョウビタキで始まり、途中カワセ
ミで一盛り上がり、締めはオオタカ、と初心者には
お腹いっぱい…の内容となった。(石塚敬二郎)

12月1日(土) 所沢市 狭山湖

参加: 22名 天気: 晴

マガモ コガモ キンクロハジロ カワアイサ
カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツ
ブリ キジバト カワウ アオサギ オオバン
トビ オオタカ コゲラ ハシブトガラス ヤマ
ガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイ
ス メジロ シロハラ ルリビタキ ジョウビタ
キ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タ
ヒバリ カワラヒワ アオジ (30種) (番外: ドバ
ト、ガビチョウ) ツグミがない、アトリも出
ない…。今季も冬鳥が少ないのかなと、淋しい思

いを胸に湖面に目をやるとキンクロハジロの群れ
の中にカワアイサ(川秋沙)の♀が2羽。♂は?と
探すと遙か離れてただ1羽。鳥も孤独に浸りたく
なる時があるのかな?と余計な心配をしながら白
が際立つみに見入った。「川秋沙ボツンと浮いて
波静か 狭山の湖(うみ)に秋はふけ行く」

(石光 章)

12月7日(金) さいたま市 彩湖

参加: 19名 天気: 曇

オカヨシガモ カルガモ コガモ ホシハジロ
キンクロハジロ カイツブリ カンムリカイツブ
リ キジバト カワウ オオバン ユリカモメ
セグロカモメ トビ アリスイ コゲラ モズ
ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ
ヒヨドリ ウグイス メジロ ツグミ スズメ
ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベ
ニマシコ シメ ホオジロ アオジ (31種) (番
外: ドバト、ガビチョウ) 参加者は少なかつた
が、野鳥をじっくり観察できた。湖面のカモ類は
5種、カイツブリ類は2種。ブイにはカワウやユ
リカモメ、少数だがセグロカモメもいた。ベニマ
シコの鳴き声は聞こえたが、藪の中で姿が見えな
かったのは残念。猛禽類がいなかったためカモ類
を間近で観察できた。(高崎康晃)

12月9日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 51名 天気: 曇

キジ カルガモ キジバト カワウ ダイサギ
オオタカ ノスリ コゲラ チョウゲンボウ モ
ズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス
シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メ
ジロ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ
ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シ
メ ホオジロ カシラダカ アオジ クロジ (30
種) (番外: ドバト) スタート早々にチョウゲン
ボウが飛び、ツグミ、キジ、シメが現れ、出だし
は上々。河原では遠い樹上に止まったノスリ、オ
オタカの識別で盛り上がる。しかし野鳥の森は静
かで期待外れ。最後の池でシロハラ、クロジ、ア
オジが見られて格好がついた。(新井 巖)

12月13日(木) 加須市 加須はなさき公園

参加: 29名 天気: 晴

ヒドリガモ カルガモ ハシビロガモ コガモ

カイツブリ キジバト アオサギ ダイサギ オオバン トビ ツミ コゲラ チョウゲンボウモズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (31種) (番外：ドバト) 青毛堀川で恒例になった、コガモの飛翔を目線の高さで観察。園内に戻るや、数羽のアトリが葉を付けた枝間で採餌。全員が観察でき、場が一気に盛り上がる。折よく上空で、トビに絡むツミが出てまた歓声。今回のテーマ鳥・オオカワラヒワも随所において、順光で美しさを堪能した。 (長嶋宏之)

ソガラス ハシブトガラス キクイタダキ ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ アトリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (41種) (番外：ドバト、ガビチョウ) 開始早々、ツグミの姿。日本庭園付近ではシメ、ヤマガラ、ジョウビタキ。西田沼のカモは少ない。花木園への峠ではアカゲラが飛び降りる。梅林の大木にはツミが翔んできた。山田大沼では、ハシビロガモ、キンクロハジロなど数種のカモ類を観察。探鳥会終了後の帰途ではキクイタダキ、リュウキュウサンショウクイ、ビンズイなども。 (鈴木秀治)

12月15日 (土) さいたま市 岩槻文化公園

参加：67名 天気：晴

オカヨシガモ ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン イカルチドリ トビ ツミ オオタカ カワセミ コゲラ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (36種) (番外：ドバト) 村国池までは鳥の出が悪かったが、散策の森からテニスコートにかけてシメ、オオタカなどが見られた。元荒川ではツグミの水浴び、カワセミなどで盛り上がり、テストコースでは1本の樹に止まる5羽のシメや20羽近くのエナガの群れに歓声。新曲輪橋の下で当地では珍しいオカヨシガモ。鳥合わせの最中にハヤブサやトビが飛翔。 (長野誠治)

12月15日 (土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：6名

相原修一、海老原教子、海老原美夫、小林みどり、志村佐治、藤掛保司

12月16日 (日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：58名 天気：晴後曇

コジュケイ ヒドリガモ マガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ ツミ オオタカ ノスリ コゲラ アカゲラ サンショウクイ モズ カケス ハシボ

12月16日 (日) さいたま市 三室地区

参加：35名 天気：曇

オカヨシガモ マガモ カルガモ コガモ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ コサギ バン オオバン ハイタカ オオタカ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (32種) (番外：ドバト) 出現鳥は素晴らしかった。鉄塔に止まっているオオタカを間近でたっぷり堪能。また、私の大好きなアオジを含めて目標とする小鳥もほぼ見ることが出来た。カワラヒワはウメモドキの赤い実の中にいたため最高に美しく見えた。三室は最高。 (青木正俊)

12月23日 (日、祝) 年末講演会

参加：53名

埼玉会館2階ラウンジで実施。第1部「映像で振り返るこの1年」では5名の会員から寄せられた画像等を鑑賞。第2部では中西悟堂研究家の西村真一様をお招きして、『日本野鳥の会誕生の秘話』のテーマで講演していただいた。創立84年(創立日：1934年3月11日)となった日本野鳥の会が、どのようにして誕生したかを中心に、当時の資料などをパワーポイントで説明していただいた。また、講師所蔵の中西悟堂先生関連の貴重な資料も拝見でき、ユーモアを交えての楽しい講演であった。第3部の希望者による懇親会はワシントンホテル内の中華料理店で行い、講師の西村様を含めて26名が出席した。 (長野誠治)



●「埼玉県野鳥チェックリスト 2019」作成

前回の「埼玉県野鳥チェックリスト 2016」に続き、3年ぶりに新版「同 2019」を、当会野鳥記録委員会(委員長:榎本秀和)が作成しました。

『日本鳥類目録改訂第 7 版』(日本鳥学会)にほぼ準拠し、同委員会が 1978 年 4 月から 2019 年 1 月までの間に写真などの客観的資料があるものとして確認した県内の記録に基づき作成したもので、次の 9 種が新たに追加され、21 目 69 科 343 種になりました。

種名	観察年月日・場所
アネハヅル	2016/09/02さいたま市
ミナミクイナ	2016/09/04川越市
キマユホオジロ	2016/10/13所沢市
モリムシクイ	2016/10/30幸手市
アオシギ	2017/02/02東松山市
クロアシアホウドリ	2017/02/02越谷市
シラガホオジロ	2017/02/25羽生市
マダラチュウヒ	2017/05/17さいたま市
カラアカハラ	2018/05/06秩父地方

●埼玉県鳥獣保護管理員推薦

埼玉県環境部みどり自然課から、平成 29 年度県鳥獣保護管理員 3 名の推薦依頼があり、2月 17 日(日)の役員会で協議の結果、前年度に引き続き、小荷田行男・小林みどり・橋口長和の 3 名を推薦しました。

●会員数は

3月 1 日現在 1,578 人です。

活動と予定

●2月の活動

2月 9 日(土) 3月号校正作業(相原修一、海老原教子、海老原美夫、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、長嶋宏之、山部直喜)。

2月 15 日(金) さいたま市さぎ山記念館で開催された見沼・さぎ山交流ひろば運営協議会に出席。①「みぬま秋フェス 2018 in さぎ山」開催結果: 2 日間で 2,576 名来場 ②「見沼たんぼクリーンウォーク」3月 9 日に実施、など(小林みどり)。

2月 17 日(日) 役員会(司会: 浅見徹、各部委員会等の報告、5~8月の行事予定、鳥獣保護管理員の推薦、次年度役員についての意見交換、など)。

2月 18 日(月) 『野鳥』誌と同封発送しない会員向け『しらこぼと』3月号を郵便局から発送(海老原美夫、山部直喜)。

●4月の予定

4月 6 日(土) 編集部会。

4月 13 日(土) 5月号校正(午後 4 時から)。

4月 14 日(日) 出張普及部会(県北部)。大麻生定例探鳥会終了後、13 時 30 分から熊谷市荒川公民館(秩父鉄道上熊谷駅徒歩 2 分)にて。夕刻から懇親会も予定。

4月 20 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

4月 21 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

マイフィールドは柳瀬川とそれに隣接する水谷田圃。田圃といっても東上線柳瀬川駅から歩いてすぐ、ホームからもよく見える近さだ。このたんぼの一部に大きな遊水池が計画されていて測量も始まっている。

土地買収はこれからとのことだが、さていつまで今の田圃を楽しめるのかなあ。(山口)

しらこぼと 2019 年4月号(第 421 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
 編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社